

公開授業② (12:45～13:30)

平成 31(2019)年 2 月 8 日(金)

場所：第 1・2 理科室

公開授業④ (10:50～11:35)

平成 31(2019)年 2 月 9 日(土)

場所：第 1・2 理科室

未来そうぞう科学習指導案

5 年 1 組 山脇 美穂

1. 単元名 LIFE ～他者と出会い 自分を考える～

2. 研究主題との関連

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

第 5 学年では、未来そうぞう科のテーマを「自分との対話」とし、研究を進めている。高学年になった 5 年生の子どもたちは、視野が広がると同時に、他者から十分に評価されていないと感じ、他者の目に自分はどうか映っているのかが気になり始めている。これは、本校の学校アンケートにおける「自分は周りの大人や友だちから認められていると思う」という項目に対して、「そう思う」という回答は 65%前後にとどまっていることから分かる。

そこで、A 領域では、自己肯定感を高めることをねらいとした単元開発を進めていくことにした。

本単元は、様々な考え方・生き方との出会いから、自分とつなげて考えることで、「これまで」や「これから」の考え方・生き方に対する見方・考え方を広げたり深めたりする。

単元に入る前に、国語科「伝記を読んで、人物の生き方を考えよう」で伝記を学習した。学習後に子どもたちは、「自分には〇〇があると言えることは強みになる。」「これまでの様々な経験や人・ものとの出会いは、『今の自分』につながっている。」と話していた。そこで、本単元では、まず身近にいる「すごいと思う人」から、これまでに影響を受けたことについて見つめ直すことから始めた。「すごいと思う人」に、きっかけ・苦勞・喜びなど直接インタビューする活動を設けた。その後の子どもたちの感想などを交流する場では、「過去にあった嫌なことも今につながっている。と話せるのは、自分の中で乗り越えたからだと思う。」「すごいと思う人みんなに共通しているのは、“諦めない心”“最後までやりきること”“続けること”だと気づいたよ。」など、その人たちの価値観や人生観、伝えたい思いを共有することができた。

次の段階として、価値ある出会いの場を設定することにした。その【道を極めた人】【困難や挫折を乗り越えた人】【好きなことや得意なことがある人】【当たり前のことを毎日続けている人】【自分とは正反対の考えをもつ人】など、ゲストティーチャーとの出会いや関わりを通して、自分に対する見方・考え方を広げ、深めていく。自分なりの考え方をもち始める 5 年生の時期に、自分とは異なる立場や環境にある人の考え方・生き方に触れることを通して、考え方を再構築し、多様な考え方を認め合えるようになってほしい。それが、「どんな自分」も受け入れることにもつながるだろうと考えた。

また、ゲストティーチャーとの出会いと並行して、自分の好きなことや伸ばしたいことについて取り組む「夢中タイム」の時間を設定した。その中で、ゲストティーチャーから聴いた話が自分の考え方・生き方と関連づき、視野が広がっていく姿が見られるようになることを考える。

本単元を通して、これまでマイナスと捉えがちだった自分の苦手なことや失敗した経験でも、プラスに捉え直すことができるようになることを目指している。そのため、「未来タイム」として、ふりかえりの時間を定期的に設定し、ポートフォリオを用いて、「これまでの自分」と「今の自分」を比較させる。そうしていくことが、自分自身の変容を客観的に捉えさせることができ、「これからの自分」につなげていくことができると考える。改めて「自分自身」を振り返ることで、「自分自身」を 1 つの対象としてアプローチする力を育てていけると考える。

(2) 単元の目標

| 【創造的実践力】 | |
|---|--|
| 様々な考え方・生き方との出会いを通して、「過去の自分」と「今の自分」に対して肯定的に意味や価値を見いだすことができる。 | |
| 【主体的実践力】 | 【協働的実践力】 |
| よりよい生き方をするために、様々な考え方や生き方に触れながら、自分の考え方を広げたり深めたりするために、内察し続けることができる。 | 自分とは異なる立場や環境にある人の見方・考え方を認め、自分と比べたり、関連づけたりして見方・考え方を広げたり・深めたりすることができる。 |

(3) 活動構成の仮説

- 小学校段階で様々な考え方や生き方をしている方々と出会うことで、多様な価値観にふれ、『自分』や周りの人たちを多角的・多面的に捉え直すことができる。

年齢が上がるとともに、関わる社会や出会う人は自然と広がっていくが、小学校という限られた社会の中で生きる子どもたちに、小学校段階で様々な考え方や生き方をしている人に出会う場を設定する。そうすることで、世の中には自分とは異なる立場や考え方をもっている人がいることにも気づき、自分自身や友だちに対する見方・考え方が広がり、何事も多角的・多面的に見ることのできる力を育むことができると考える。

- 様々な考え方や生き方を認める心を育むことで、普段何気なくしていることや続けてきたことなどの「自分の生活」を意味・価値づけることができる。

様々な考え方や生き方との出会いを積み重ね、「これまでの自分」や「今の自分」とつなげて考えることを繰り返すことで、「自分自身」の好きなことや得意なことだけでなく、苦手なことや失敗経験も意味や価値づけすることができると思う。

- ポートフォリオとして蓄積したこれまでの自分のあゆみをふりかえることで、『過去の自分』や『今の自分』を客観的に見ることができる。

これまで様々な考え方・生き方をもつゲストティーチャーとの出会いから、考えたことや共感した言葉などを書き溜めたポートフォリオを用いて、「これまでの自分」と「今の自分」を比較させる。そのことで、改めて自分自身の変容を客観的に捉えることができ、「これからの自分」につなげていくことができると考える。

【これまでに会ってきたゲストティーチャー】

| | |
|------------------------------|--|
| ① 作業療法士として働いている保護者の方 | 作業療法士としてお仕事をされておられ、リハビリの一環に趣味でもある手芸を患者さんと取り組まれている。「怪我をされて社会復帰がすぐには難しい患者さんがリハビリを通して前向きに取り組もうと変わってくれたり、『ありがとう』の言葉が聞けたりすることは喜びであり、『自分を知るために、自分に問いをもつことが大切』とお話してくださった。 |
| ② 過去の辛い経験を乗り越え、警察官になられた保護者の方 | 大学生のころに、兄と父親を同時期に亡くされ、そこでの人との出会いから「強く、思いやりのある警察官になりたい!」と強い想いをもち、その想いから夢を叶えられた。『平穏な生活』とは、一人で築けるものではなく、周りにいる人々の支えがあって築けるものです。辛い過去も自分の『糧』にし、前を向いて生きることや、誰かに支えてもらい日々生きているということに感謝する気持ちをもつことが大切です。」とお話してくださった。 |
| ③ 5年生児童の3年生時の担任の先生 | 小学生のころに、自分のクラスが学級崩壊になり、その時の「学校が楽しくない…楽しい学校生活を送りたい」という思いを、同じようにもつ子を生ま出したいくないという思いから、先生を目指し夢を叶えられた。先生になってからも、「子どもたちにとってよりよい先生とは?」と自問自答を繰り返されている。「何かと関わって初めて分かることもある、決めつけて物事を見ない。」とお話してくださった。 |
| ④ 本校の副校長先生 | 中学生のころに、辛い経験をしたことがきっかけで、「子どものSOSに気づき、寄り添ってあげられる先生になりたい」と夢を叶えられた。『命』とはかけがえのないものであり、相手の立場にたって物事を考えられる人になってほしい。」と、大切にされている思いや子どもたちへの願いをお話してくださった。「自分を支えるものの存在の大きさを知り、そういうものをもってほしい」と願っている。 |
| ⑤ ピラティスやダンス・ヨガを教えておられる保護者の方 | 小学校5年生のときに見た、外国のテレビ番組をきっかけに洋楽やダンスが好きになる。そこから現在のお仕事につながっている。「壁は乗り越えられる人にしかこず、どんな経験も意味のない経験はない。99%失敗でも、1%は成功している。物事に対する見方を変えると、捉え方も変わってくる。」とお話してくださった。 |
| ⑥ 本校PTA会長をされている保護者の方 | 大学生時代の映画館でのアルバイトがきっかけで、「人がうきうきする場所で働くことへの喜び」に気づき、大学卒業後は、グランドスタッフのお仕事に就かれる。『やってみよう』と少しでも思ったことは挑戦すべき、それが『先の自分』につながっていく。やってみた結果『無理なら無理でもいい』でも、まずやってみないと何も分からない。」とお話してくださった。 |
| ⑦ ラクシュミースポット | 小さいころから好きだったゲームや音楽が今のお仕事につながっている。「人間はわがままだから、相手を変えようとしがちだけど、そうではなく、まず自分を変えてみる。それが相手にもつながりいい関係を築くことができる。『ありのままの自分を愛する』ということは難しいけれど、それができると人は強くなり、さらに自分の可能性を広げることにつながる。」とお話してくださった。 |
| ⑧ 育児休暇をとられている男性の先生 | 大学卒業後、小学校の先生として働いてきたが、第3子が生まれることをきっかけに、「育児休暇」について考え始める。「最初は、『育児は女性がするもの』と思っていた部分があったが、育児休暇を自分がとってみて気づいたことがたくさんあった。『人生悔いがないように』と育休をとってみて、普段何気なくあったことの裏には支えてくれている人がいることを知り、『感謝できる人が成長することができる』『自分を創造するのは、自分』だから、自分の心に正直にいてほしい」と、子どもたちへの願いをお話してくださった。 |

【2月8日に会えるゲストティーチャー】

| | |
|--------------------------------|--|
| ◇ 生まれつき聴覚障がいをもたれた大学生の方 | 小学校5年生のとき、自分から「聴覚支援学校へうつる」と自分で決めたり、大学卒業後、教育大へ編入することを決めたり、自分の「やりたい」「夢」に向かって、意思の強さをもっている。 |
| ◇ アンプティサッカー選手 | 悪性腫瘍で骨盤の右半分を失い、サッカー選手になる夢を一度は諦めるが、大好きなサッカーはどうしても続けたくて、アンプティサッカーと出会い挑戦する。現在、日本代表として活躍されている。 |
| ◇ LGBT ブライダルプランナーとしてお仕事をされている方 | ご自身もセクシュアルマイノリティである。「セクシュアルマイノリティやLGBT当事者にも『結婚』という選択肢を」という理念のもと、LGBTブライダルプランナーとして会社を設立する。 |
| ◇ オーダーメイド家具・雑貨の会社を立ち上げた方 | サラリーマンとして働いていたが、途中でそのお仕事をやめ「思いと時間をカタチに」というコンセプトのもと、木のオーダーメイド家具・雑貨のブランドを立ち上げる。 |
| ◇ JAXAのもと職員の方 | ロケットエンジンの開発に従事したり、国際宇宙ステーション計画の立ち上げに参加し、宇宙環境利用計画の検討に従事したりするなど、たくさんの開発に関わってきておられる。 |

3. 指導計画（全20時間）

必修

選択

毎時間

★教師の手立て

| 学習活動と問題意識 | 子どもの意識 | 評価の視点と方法 | | | | | |
|--|---|---|-----|------|-------------------|--------------------------------------|---------|
| | | ①没頭 | ②協力 | ③見通し | ④整理 | ⑤発信 | ⑥レゾリエンス |
| <p>※1. 国語科『手塚治虫』 伝記を読んで、その人から学んだことをまとめる。</p> <p>・自分と比べて、違うところはどこだろう。どうしてそのような考え方や生き方ができたのだろう。</p> | <p>何があっても前向きになれるってすごい…自分はそうはなれないと思う</p> <p>マイナスなことがあってもプラスに変えることはできるのかも</p> <p>周りがある環境や人との出会いが、その人の人生に影響を与えている</p> <p>自分には〇〇がある！と自信を持って言えるものがあるのは、うらやましいな。</p> <p>「手塚治虫の人生＝マンガ」 私の人生＝…？まだなんだ。 ないかも…。</p> <p>「自分」は、友だちとか先生とかいろいろな人に会って、そのちよつとずつの積み重ねでできている。まだ未完成。</p> <p>様々な生き方や考え方の人に会っていききたい。</p> <p>母。改めて「すごい人」を考えるのは難しかったけど、気づかなかっただけで、たくさんの人に支えられている。</p> <p>自分の周りには、一人一人どんな人にもすごい部分があると思った。</p> <p>『ぼくとベルさん』の本に出てくるエディ。できないことにも挑戦しようと思った。</p> <p>色々な人から影響を受けた方が、手塚治虫のように、自分の未来は変わると思う。</p> <p>自分と違う考え方の人にも出会った方がいいね。</p> <p>その人たちのことを、ちゃんとすごいって思えるのかな。</p> <p>自分の考え方がはっきりしてないのに、考えるのは難しいから友だちの「すごい人」から出会うっていいのかもしれない。</p> <p>どんなことを考えながら話を聞いたらいんだろう…。</p> <p>その人の強み？よさ？…違いもあるけど、共通点もあるかもしれないね。</p> | <p>様々な伝記を読む。 ●積極的(主)</p> | | | | | |
| <p>2. 自分の思う「すごい人」はだれか考える。</p> <p>どういう部分にすごいと感じて、そこからどのような影響を受けたのだろう。</p> | | | | | | | |
| <p>3. どんな人と出会っていききたいか考える。</p> <p>・【道を極めた人】 ・【当たり前のことを毎日続けることができる人】 ・【困難を乗り越えて新しい人生を歩んでいる人】 など</p> | | | | | | | |
| | | <p>ワークシート・未来ノート蓄積 ●積極的(主)</p> <p>夢中タイムの活動 (ポートフォリオ) ●積極的(主)</p> | | | | | |
| | | | | | <p>★ワークシートの作成</p> | | |
| | | | | | | <p>15年後の社会を考える。 ●過去・現在・未来(主)</p> | |
| | | | | | | | |

夢中タイム

未来タイム
「自分」との比較・関連づけ

| 学習活動と問題意識 | 子どもの意識 | 評価の視点と方法 | | | | | | |
|--|--|--|-----|------|--|-----|--|--|
| | | ①没頭 | ②協力 | ③見通し | ④整理 | ⑤発信 | ⑥レゾリエンス | |
| <p>4. 話を聴くときの視点について考える。</p> <p>・「自分」と比べながら聴くようにしましょう。</p> | <p>手塚治虫さんの伝記を読んだときのように、自分と比べて聴くことが大事なのではないかな。</p> <p>どうして、「自分」を認められるようになったのかも知りたい。</p> <p>周りの人の方がやっぱりすごいと思ってしまって、「好き」は好きだけど…自信はもてないな。</p> | | | | | | | |
| <p>★5. 様々な人と出会う。</p> <p>・様々な人の話を聴いて思ったことや考えたことを書きためていこう。</p> | <p>自分と似たような環境に育った人の話から聴きたいな。</p> <p>自分と似たような環境に育った人の話から聴きたいな。</p> <p>様々な人の話を聞いていると、「自分」をもっと素直に認めてあげてほしいのかもしれないと思ってきたよ。</p> | | | | | | | |
| <p>★6. 様々な人の話を聴いて、思ったことや考えたことを交流しよう。</p> <p>・相違点や共通点はあるのだろうか。</p> | <p>私たちと同じ小5の時、どんな風に考えていたり、過ごしていたりしたのか知りたいな。</p> <p>どんな人も、最初からすごかったわけではないんだね。</p> <p>過ごしていくうちに、「自分はこれが大事」というものがもてるようになっていく。</p> <p>それは、本当にみんななのか？</p> <p>話を聴いてきた人たちはみんな、周りの人のアドバイスも聴きながら、自分の考えをもう一度見つめているね。</p> | | | | | | | |
| <p>9. 『自分自身』について振り返る。</p> <p>・話を聴く前の「自分」と今の「自分」には、どのような変化があるのだろうか</p> | <p>「好き」という気持ちを大事にしている部分は似ているかもしれない。</p> <p>無理って決めつけるのはいつも自分で、周りの人はそうではなく、応援してくれているのかな。</p> <p>自分と気が合う子とだけ遊んでいたけど、違う子も遊ぶと何か新しい発見があるかも。発見できるか、できないかは自分次第なんだね。</p> <p>これから様々な人と出会って話を聴いていきたいな。</p> <p>ん～まだ…あんまり「自分」には自信がもてないところもあるな。</p> <p>言うのはちょっととれるけど、「自分」のことを前よりいいって思えるようになったかも。</p> | <p>自分が話を聴きたい人を招待する。 ●積極的(主)・協力(協)</p> <p>ゲストティーチャーの話を聴く。 ●積極的(主)</p> | | | <p>★様々な生き方・考え方との出会いの場を設定する。</p> <p>★ワークシートの作成</p> <p>ゲストティーチャーの話を聴く。 ●比較・関連づけ(協)</p> | | | |
| | | | | | <p>交流 自分と友だちの考えを比較しながら見方・考え方を広げた襟深めたりする。 ●認める・深める・広げる(協)</p> | | | |
| | | | | | <p>交流 ●友だちの考えを認める(協)</p> | | | |
| | | | | | | | <p>★子どもたちの見方・考え方にゆさぶりをかける。</p> | |
| | | | | | | | <p>これまでの出会い・自分の過去から、これからの自分を考える。 ●意味・価値づけ(創)</p> | |
| | | | | | | | <p>これから大事にしたい見方・考え方をまとめる。 ●意味・価値づけ(創)</p> | |

事中タイム

